

【展覧会情報更新】

パウル・クレー展——創造をめぐる星座

会期／2025年3月29日（土）～5月25日（日）

会場／兵庫県立美術館

パウル・クレー 20世紀美術に燦然と輝くスターたちとの共演！

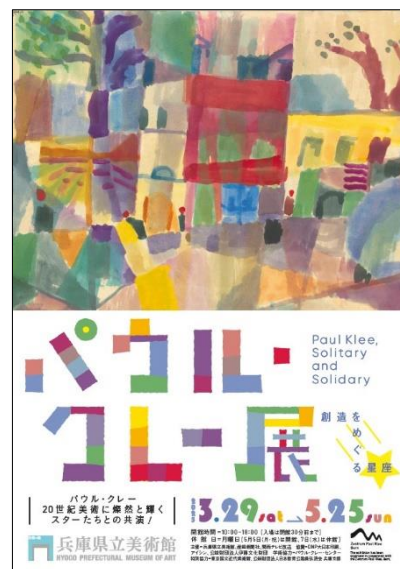
2025年3月29日（土）～5月25日（日）の期間、兵庫県立美術館にて「パウル・クレー展——創造をめぐる星座」を開催いたします。

「この世では、私を理解することなど決してできない。なぜなら私は、死者たちだけでなく、未だ生まれざる者たちとも一緒に住んでいるのだから。」

パウル・クレー（1879-1940）のこの言葉は、1920年にクレーの作品を売り出した画廊の販売戦略に用いられて、孤独に瞑想する芸術家としての彼のイメージを広めました。たしかにクレーの作品は謎めいているかもしれませんが、しかし、同じ時代を生きたほかの多くの前衛芸術家たちと同様に、クレーもまた、仲間たちと刺激を与え合ったり、夢を共有したりしながら、困難な時代を生き抜いたひとりの人間でした。

クレーは、人生の根源的な悲劇性と向き合いながら、線と色彩によって光を呼び起こし、抽象のなかに生命のエネルギーを描き出しました。その作品は、歴史的な文脈のなかに置かれることで、また新たな姿を見せることでしょう。本展では、スイスのパウル・クレー・センターの学術協力のもと、クレーと交流のあった芸術家の作品との比較や、当時の貴重な資料の参照を通じて、多くの人や情報が構成する星座＝コンステレーションのなかでクレーを捉え直し、その生涯にわたる創造の軌跡をたどります。

なお本展は兵庫県立美術館では10年ぶりに開催のクレー展となります。



展示構成

1章 詩と絵画

クレーがミュンヘンのアカデミーに学び、帰郷後再度ミュンヘンにてカンディンスキーやフランツ・マルクら青騎士の芸術家たちと出会うまでを紹介します。



パウル・クレー《リリー》
1905年
パウル・クレー・センター（リヴィア・クレー寄贈品）

2章 色彩の発見

1912年にパリを訪れたクレーは衝撃を受け、その後チュニジアを訪問、色彩に目覚めます。ここではピカソ、ブラックらの作品も紹介します。



パウル・クレー《チュニスの赤い家と黄色い家》
1914年
パウル・クレー・センター

3章 破壊と希望

第一次世界大戦で青騎士の友人を失ったクレーは、戦争への批判的な態度を強め、自作の切断一再構成を実践します。ここでは戦争とクレーの関係性やダダの作家たちによるクレー評価を紹介します。



パウル・クレー《紫と黄色の運命の響きと二つの球》
1916年
宮城県美術館 ※4月27日まで展示

4章 シュルレアリスム

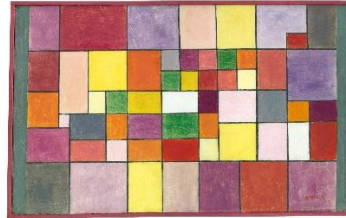
「シュルレアリスム宣言」で、クレーはその先駆者のひとりとされました。ここではクレーとシュルレアリスムの交流を展示します。



パウル・クレー《熱帯の花》
1920年
パウル・クレー・センター

5章 バウハウス

1919年にクレーはバウハウスのマイスターとして招聘されました。ここではクレーの造形論を紹介し、クレーにおける構成主義的な傾向の影響を検証します。



パウル・クレー《北方のフロアラのハーモニー》
1927年
パウル・クレー・センター（リヴィア・クレー寄贈品）

6章 新たな始まり

ヒトラー政権樹立によりクレーは退廃的な「ユダヤ人」とみなされ、140点もの自作が「退廃芸術」として美術館から没収されました。ここではクレー自身とその時代の危機的状況を紹介します。



パウル・クレー《腰かける子ども》
1933年
宇都宮美術館 ※4月29日から展示

音声ガイド

本展のナビゲーターに、声優・伊東健人が決定！作品鑑賞のポイントなど、展示会の魅力をお伝えします。



展示会ナビゲーター

伊東健人（声優・歌手）

プロフィール

【推しの子】〈ゴロー 役〉、マイホームヒーロー〈間島恭一 役〉、アイドルマスター SideM〈裕道夫 役〉、刀剣乱舞-ONLINE-〈桑名江 役〉をはじめ、アニメ、ゲーム、テレビ、ラジオで幅広く活躍。そのほか歌手としても活動。

コメント

今回の展示会では、クレーの作品だけではなく、周りを取り巻く環境や、友人などにもスポットが当たっているので、その人間関係を知って、クレーに影響を与えたものなどを、自分なりに紐解いていくのも面白いと思います。観る方たちの目に映る色彩が鮮やかになればよいなと思いながら音声ガイドを務めましたので、ぜひ楽しんでいただければと思います。

貸出料金 1台 700円（税込）

関連イベント

■ 講演会

日時：2025年3月29日（土）14:00～15:30
講師：黒田 和士氏（愛知県美術館学芸員・本展企画者）
演題：パウル・クレー 転換するコンステレーション
会場：兵庫県立美術館KOBELCOミュージアムホール
当日先着順、定員150名、聴講無料、要パウル・クレー観覧券（半券可）

■ 詩と音楽で綴るパウル・クレーの世界—谷川賢作コンサート

日時：2025年4月11日（金）15:00～16:00
出演：谷川 賢作氏（作曲家・ピアニスト）、深川 和美氏（ソプラノ歌手）
内容：特別展「パウル・クレー展」に関連して、ピアニスト・作曲家の谷川賢作さん、ソプラノ歌手の深川和美さんを招き、音楽と歌と詩によるコンサートを開催します。谷川賢作さんの父である詩人 谷川俊太郎さんが手がけたクレーを題材にした詩集から、クレーの世界を音楽でつむいでいきます。
会場：兵庫県立美術館KOBELCOミュージアムホール
参加：事前申込制、定員200名、入場料1,000円、要パウル・クレー展観覧券（半券可）



谷川賢作氏
（作曲家・ピアニスト）



深川和美氏
（ソプラノ歌手）

■ 学芸員による解説会

日時：2025年4月13日（日）、4月29日（火・祝）、5月18日（日） いずれも15:30～16:15
会場：兵庫県立美術館レクチャールーム
聴講無料、先着順、定員80名

■ ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：会期中の毎週日曜日 11:00～11:15
会場：兵庫県立美術館レクチャールーム
聴講無料、先着順、定員80名

■ こどものイベント「絵を切って貼ってもういちどつくろう！」（仮題）

日時：2025年4月26日（土） 10:30～13:00
会場：兵庫県立美術館アトリエ2
参加費：500円を上限に徴収予定
詳細は兵庫県立美術館ホームページにて

お得なコラボ企画を実施！

■ アトアとの相互サービスを実施

展覧会開催期間中、AQUARIUM × ART átoaの入場券各種を本展チケットカウンターにて提示でチケット代が割引になります。

《割引価格》

当日一般2,000円（税込）⇒1,900円（税込）

当日大学生1,500円（税込）⇒1,400円（税込）

また、本展観覧券および半券をAQUARIUM × ART átoa3階 átoa LABショップにて提示で、オリジナルポストカードをプレゼントいたします。

※証票1枚につき、1人1回の使用に限ります。そのほか割引との併用は不可。

ただし証票が複数名の利用であることが認識できる場合は、利用者分の割引とします。



■ unimocc art cafe gallery×「パウル・クレー展」 コラボドリンクを販売！

「アートを見る.知る.伝える.」をコンセプトに絵画からインスパイアされたドリンクやアート体験ができる「unimocc art cafe gallery」では、展覧会期間中、「北方のフロアのハーモニー」をイメージしたフルーツシャーベットのティーソーダを提供します。

商品名：《北方のフロアのハーモニー》をイメージしたフルーツシャーベットのティーソーダ

販売期間：3月29日（土）～5月25日（日）

販売価格：1,800円（税込）※毎日数量限定

販売場所：unimocc art cafe gallery

〒542-0012大阪市中央区谷町6丁目3-25, 1F

公式サイト：<https://unimocc.com/>



■ 展覧会観覧相互割引

本展の観覧券（半券可）をご提示いただくと、下記の展覧会が割引料金でご鑑賞いただけます。

展覧会名：「空想旅行案内人 ジャン＝ミッシェル・フォロン」展 当日券100円引き！

会期：2025年4月5日（土）～6月22日（日）

会場：あべのハルカス美術館

※1枚につき1名様1回限り有効 ※他の割引との併用不可 ※休館日、開館時間等の詳細はあべのハルカス美術館公式サイトをご確認ください

開催概要

展覧会名：パウル・クレー展——創造をめぐる星座

会 場：兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]

会 期：2025年3月29日（土）～5月25日（日）50日間

開館時間：午前10時～午後6時 ※入場は閉館の30分前まで

休 館 日：月曜日（ただし5月5日〔月・祝〕は開館、5月7日〔水〕は休館）

チケット発売日：2024年12月19日（木）10:00

観 覧 料：	当日	団体	前売
一般	2,000円	1,600円	1,800円
大学生	1,500円	1,200円	1,300円
高校生以下	無料	—	—
70歳以上	1,000円	800円	—
障害者手帳等をお持ちの方（一般）	500円	400円	—
障害者手帳等をお持ちの方（大学生）	350円	300円	—

※前売券の販売は2025年3月28日（金）まで

※団体は20名以上。団体鑑賞をご希望の場合は1カ月前までにご連絡ください

※障害者手帳等をお持ちの方1名につき、その介助の方1名は無料

※予約制ではありません。混雑時は人数制限を行いますのでお待ちいただく場合があります

※一般以外の料金で利用される方は証明書を当日ご提示ください

※コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要です（本展とあわせて観覧される場合は割引があります）

〈主な販売場所〉

公式オンラインチケット、チケットぴあ（Pコード：687-122）、ローソンチケット（Lコード：55615）、

セブンチケット（セブンコード：108-424）、イープラス、CNプレイガイド、アソビュー！、楽天チケット、

兵庫県立美術館ミュージアムショップ、近鉄営業所ほか

主 催：兵庫県立美術館、産経新聞社、関西テレビ放送

協 賛：DNP大日本印刷、アイシン、公益財団法人伊藤文化財団

学術協力：パウル・クレー・センター

特別協力：東京国立近代美術館、公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

公式サイト：<https://www.ktv.jp/event/paulklee>

お問合せ：兵庫県立美術館 078-262-1011

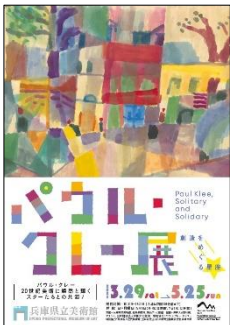
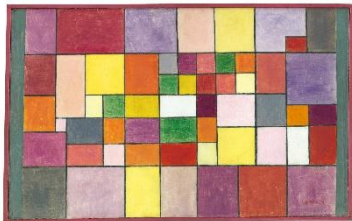
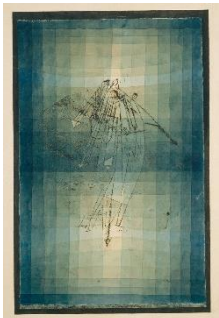
【広報画像一覧】 パウル・クレー展——創造をめぐる星座

広報用画像を提供いたします。ご希望の場合は、下記よりお申込みください。

【申込フォーム】

<https://forms.gle/Xtx4KiVacELZ3x7P8>



【1】 	【2】 	【3】 
【4】 	【5】 	【6】 
【7】 	【8】 	【9】 
【10】 	【11】 	

【報道に関するお問合せ】

「パウル・クレー展——創造をめぐる星座」神戸展 広報事務局（ネネラコ内）

E-MAIL / paulklee-kobe@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

【広報画像申込書】 パウル・クレー展——創造をめぐる星座

【広報用画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期・会場名のほか、画像掲載の際は作品名、所蔵先を必ずご掲載ください。
- 画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せなどの加工・改変はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- webサイトに掲載する場合は、72dpi 以下、400×400pixel 以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、グラブリ・原稿段階のものを「広報事務局」にお送りください。
- 掲載・放送後は、**必ず掲載紙（誌）、掲載URL、同録DVDを下記「広報事務局」までお送りください。**

キャプション一覧】ご希望の画像番号の□に✓をお願いします。

番号	クレジット
1□	チラシビジュアル *クレジットなし
2□	パウル・クレー《リリー》1905年 パウル・クレー・センター（リヴィア・クレー寄贈品）
3□	パウル・クレー《チュニスの赤い家と黄色い家》1914年 パウル・クレー・センター
4□	パウル・クレー《紫と黄色の運命の響きと二つの球》1916年 宮城県美術館 ※4月27日まで展示
5□	パウル・クレー《熱帯の花》1920年 パウル・クレー・センター
6□	パウル・クレー《北方のフロラのハーモニー》1927年 パウル・クレー・センター（リヴィア・クレー寄贈品）
7□	パウル・クレー《腰かける子ども》1933年 宇都宮美術館 ※4月29日から展示
8□	パウル・クレー《ハマメットのモチーフについて》1914年 バーゼル美術館
9□	パウル・クレー《周辺に》1930年 バーゼル美術館
10□	パウル・クレー《蛾の踊り》1923年 愛知県美術館
11□	パウル・クレー《赤、黄、青、白、黒の長方形によるハーモニー》1923年 パウル・クレー・センター

貴社名／	ご所属部署／
ご担当者／	TEL／
E-mail／	
貴媒体名／	媒体種／
掲載号・露出予定日／ への転載あり	月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 □WEB
サイトURL／	
媒体プレゼント用チケット／□希望（2組4名まで）※1点以上の広報用画像使用必須 お送り先／〒	

【報道に関するお問合せ】

「パウル・クレー展——創造をめぐる星座」神戸展 広報事務局（ネネラコ内）
E-MAIL / paulklee-kobe@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル